

PART 1：新宿区早稲田エリア

三徳 vs 食品館イトーヨーカドー、マルエツプチ、まいばすけっと 都市小型フォーマット対決 惣菜&日配編

城取フードサービス研究所
城取 博幸



惣菜部門

早稲田駅近くの都市型小型SMを4店舗視察し、その商品、品揃えの特徴や価格訴求力、売場提案力などの比較分析。「三徳」「ヨーカ堂」は従来型の小型SM、「まいばすけっと」「マルエツプチ」は、ローコスト、EDLP価格政策の小型SM。今後の都市型小型店がどう変化してゆくのか視察してみた。

三徳のレイアウトとその特徴

惣菜は、第4コーナーのパンの隣にレイアウトされて多段ケースで販売されている。揚物、弁当、寿司はインストアで加工されている。狭い売場ではあるが、インストアの特徴を生かした商品やレンジアップ商品も品揃えされている。

入口付近には、彼岸であったため「おはぎ」や「まんじゅう」が陳列され、その隣には「エビフライ 8本入り 398円」が売られていた。

まいばすけっとのレイアウトとその特徴

惣菜は、第3コーナーの多段ケースにまとめて陳列されている。全てアウトパック商品であるだけに、できたて感はないが、弁当、麺類などの価格は安い。コンビニと同じように、短時間で買物ができる便利な店であるが、チルド、冷凍のレディ・ミールなどのチルド商品やサラダ、涼味麺などの即食系の品揃えがもう少し欲しい。

イトーヨーカ堂のレイアウトとその特徴

立地的にはJRの駅から一番離れているが、地下鉄の駅の出口はすぐ隣にある。惣菜売場は小型店にもかかわらず、インスタ加工商品の品揃えを重視。建物は二層になっていて、1階が素材系、2階が即食系の品揃えである。惣菜は第3コーナーに揚げもののバラ販売、パック商品、おでん売場と続く。揚物のパック売場は約4尺と狭く、バラ売場はその約3倍のスペースを確保。それから、弁当、寿司、チルド商品へと続く。売場の特徴は、チルド商品の売場とアイテムが拡大されたことだ。特にスープ、汁物、麺類の品揃えが充実しているが、セブンイレブンの品揃えに比べればチルド商品はまだ少ない。

マルエツプチのレイアウトとその特徴

惣菜コーナーは、店舗の第3コーナーに位置し、角のマグネットには揚げものがバラ販売されている。その隣には、客が自分で詰めるごはんジャー（1パック158円）が置かれている。売場の中央には冷蔵平ケースが2台配置されて、サラダや麺類、ローストビーフ、レディ・ミール商品などが陳列されている。インスタで製造されているのは揚物と弁当、丼のみで、寿司、チルド商品はアウトパック商品である。レジ近くには、「インスタペカリー」のパンのバラ販売も行っている。もしも、惣菜と同じバックヤードで、1人で揚げものとパンを製造しているとなれば、小型店の今後の惣菜部門の姿のヒントかもしれない。揚げ物はフライヤー、パンはオーブンであるため作業が重なることはない。冷凍生地をオーブンに入れてしまえば、フライヤーの作業ができる。弁当をやめれば、1人でオペレーションができる可能性が出てくる。

気になった商品

1. 三徳 「マイセン カツサンド」 388 円



とんかつ専門店「マイセン」のカツサンドの箱入り商品。中にはラップに包まれたカツサンドが 3 個入っている。食パンはしっとり、とんかつは柔らかくソースとの相性もよい。小腹が空いたときにうってつけの商品だ。

2. 食品館イトーヨーカ堂 「奥州こくみ鶏団子春雨スープ」 298 円



「電子レンジで簡単メニュー」惣菜のチルド売場のレディ・ミール商品。鶏肉団子と春雨のスープ。肉団子、野菜のボリュームもけっこうある。298 円の価格も値頃を抑えている。薄味で 181 kcal という低カロリーもうれしい。

3. マルエツプチ 「南富良野 バタじゃが」 130 円



惣菜売場でバラで売られていた、茹でじゃが芋に塩とバターで味付けした商品。電子レンジから取り出すとバターの良い香りがする。じゃが芋はホクホクで味もよい。手間いらずで、メインディッシュの付け合わせにも最適。大袋も販売されていた。

「インスタ加工食品」と「アウトパック商品」

「インスタ加工商品は、アウトパック商品よりも優れているのか？」

私は決してそうとは思わない。確かに、優れているものと、優れていないものもあるが、それを決めるのはお客である。

三徳とヨーカ堂は、フルラインのインスタ製造、マルエツプチは揚物、一部米飯とインスタペーカリー、まいばすけっとは100%アウトパック商品というそれぞれの特徴がある。都市部であるため、コンビニもひしめき合っている中、採算を意識しつつ、どれだけ差別化ができるかが課題だ。そのカギは、チルドのアウトパックの「即食系商品」と「レンジアップ商品」の開発にあると見ている。

惣菜の主力商品の最低価格比較

	三徳	まいばすけっと	イトーヨーカ堂	マルエツプチ
コロッケ	98 円		98 円	98 円
野菜かき揚げ	海老入 138 円		90 円	海老入 120 円
鶏唐揚げ 1 パック	162 円		156 円	348 円
おにぎり	88 円	98 円	110 円	98 円
弁当	398 円	298 円	398 円	298 円
にぎり寿司	550 円	158 円	580 円	498 円
カツ丼	498 円			500 円
ポテトサラダ 小パック	198 円		98 円	98 円
ひじき 小パック	125 円		178 円	128 円

日配部門

早稲田駅近くの都市型小型SMを4店舗視察し、そのレイアウト、商品の特徴を調査し、今後の都市型小型店の方向性を視察した。

三徳のレイアウトと品揃えの特徴

三徳はJR早稲田駅に一番近く、駅を出れば店はすぐ近くだ。入口のテラス部分には野菜が並べられて市場的雰囲気醸し出している。入口を入ると、青果売場の近くに洋日配売場を配置、和日配は店の第3コーナーから第4コーナーに配置されている。品揃えの特徴は、主力商品の価格の下限を抑えつつ、少し高品質の商品を品揃えしている。価格訴求品はケース下段に配置せず、オリジナル商品を最下段に陳列している。和日配の陳列ケース上の雑貨商品が印象的である。また、惣菜の隣には、「イースト未使用」のオリジナルパン「サンドルシェ」を品揃えし、パンの独自化を図っている。

まいばすけっとのレイアウトと品揃えの特徴

三徳のすぐ隣にはイオングループの小型店である「まいばすけっと」が出店している。店の特徴は、PB商品を含め「コモディティ型のEDLP」に絞り込んで販売する店。店内に入ると、小型店の割には通路がしっかり確保されていて、買いやすい店の印象を持つ。イオングループが得意とする、冷凍のレンジアップ商品のさらなる拡大を期待する。

イトーヨーカ堂食品館のレイアウトと品揃えの特徴

三徳、まいばすけっとを過ぎると、イトーヨーカ堂の小型店「イトーヨーカ堂食品館」の看板が見える。店は道路から少し奥まっついて、入口を入れば2階部分、エスカレーターで下に降りれば、生鮮食品を中心にした1階部分がある。日配の「素材系」の豆腐、油揚げ、こんにゃく、納豆、卵は1階部分に配置され、「即食系」の漬け物、佃煮、麺類、練製品、洋日配の飲料、デザート、パン、冷凍食品、アイスは2階部分に配置されている変形のレイアウトである。品揃えの特徴は、デパートを意識したような少し高めの商品を品揃えしている。特にチルドデザートは、「神楽坂 茶寮」など、都内の有名ブランドのスイーツを品揃えしている。チルド商品のPB「セブンプレミアム」は、惣菜のチルド商品の端にまとめて陳列されている。セブン&アイHが得意とする、チルドのレンジアップ商品のさらなる拡大を期待する。

マルエツプチのレイアウトと品揃えの特徴

マルエツプチは、マルエツの都市型小型店。以上の3店とは違う道路に面して

いるが、距離的にはあまり離れていない。日配のレイアウトは、入口の青果売場の近くに、洋日配と和日配をまとめてレイアウトしている。品揃えは、「コモディティ型のEDLP」で、主力商品は他の3店舗と価格を合わせている。小型店の割には、「ホールセールのパン」だけでなく、菓子パンを中心にした「インスタアベーカーリー」を品揃えしているのが特徴である。

気になった商品

1. 三徳 「鳥海高原 フルーツオンヨーグルト ブルーベリー」 420円



中ははっきり見えないが、300gのヨーグルトの上に、たっぷり100gのブルーベリーソースがかかった驚きの商品。独り占めしたらもったいなく、誰かにこの凄さを伝えたいような商品。個食ではなくファミリー向け商品は正解。

2. 食品館イトーヨーカ堂 「神楽坂 茶寮 苺のカップモンブラン」 380円



東京都新宿区神楽坂の高級洋菓子店「アトリエ茶寮」の苺モンブラン。何層にも重なったスポンジケーキの上に苺とミントがトッピングされている。かぼちゃの種なども入って甘すぎない上品な味。クリームがしっかりしているので、ショッピングバッグの中で横になっても形が崩れないのがうれしい。

3. マルエツプチ 「小岩井 発酵バター ホイップ仕立て」 60g 398円



マルエツプチはスナック類が充実している。この商品は瓶入りの発酵バターのホイップ。「ワッフル」「ホットケーキ」や「トースト」に便利に使える商品。味は濃厚で香りもよい。乳製品コーナーだけでなく、スナックコーナーにもメープルシロップと陳列しておきたい商品。

「コモディティ」と「独自化」 やはり結論は商品開発がカギ

早稲田駅近くの都市型小型店を4店舗視察したが、その店の特徴を挙げれば、「まいばすけっと」と「マルエツプチ」は「コモディティ型 EDLP型」であるのに対し、「三徳」と「イトーヨーカ堂」は、「品揃え型 独自化型」である。それでも、主力商品価格の下限は各社抑えている。この地域の「無調整牛乳1ℓ」の価格は157円で落ち着いているようだ。

「コモディティ型」の課題は、「ローコスト・オペレーション」であり、いかにコストを削減して、ロープライスを実現するかである。一方、「品揃え型 独自化型」の課題は、「独自化商品をいかに早くお客に浸透させるか」である。さらに、両方に課せられた課題は「高付加価値化商品の開発」である。イオンやセブン&アイHが進めている「PBレンジアップ商品（レディ・ミール）」の開発が急務である。冷凍食品からスタートして、チルド商品への拡大を図る。

日配品の主力商品の最低価格比較

	三徳	まいばすけっと	イトーヨーカ堂	マルエツプチ
豆腐 300 g	58 円	39 円	58 円	88 円
納豆 3 段重 ね	68 円	68 円	78 円	78 円
焼きそば 3 食	128 円	98 円	128 円	128 円
生ちくわ	118 円	99 円	98 円	98 円
白菜漬け	270 g 198 円	ミックス 198 円	250 g 198 円	300 g 199 円
無調整牛乳 1ℓ	157 円	157 円	157 円	157 円
プレーンヨー グルト	117 円	128 円	118 円	128 円
食パン 6 枚 入り	98 円	98 円	118 円	88 円
玉子 6 個入 り	228 円	99 円	188 円	118 円